

# 第3章 グランドデザイン

## 1. グランドデザインの役割

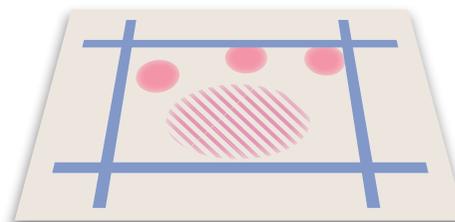
まちづくりのコンセプト「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」やライフスタイルの実現に向け、効果的、効率的なまちづくりを進めるためグランドデザインを設定します。

平塚駅周辺地区は広いため、一律にまちづくりを進めるのではなく、右図のようにグランドデザインとして、現状のまちの特性や来街先、地区内の移動状況などを踏まえて、多様な活動を行う場の中心となる「①都市機能<sup>\*</sup>の集積を誘導するエリア」を設定します。

このエリアを中心に「②ウォーカブルネットワーク」の形成を進め、さらに交通施設やルールなどの「③交通マネジメント」を設定することで、メリハリをつけてまちづくりを進めることが有効です。

この章では、コンセプトを実現するため、平塚駅周辺地区全体を見渡し、中心となるエリアを設定するなど、骨格を示し、メリハリのある整備などのイメージを示しています。

### グランドデザインの考え方

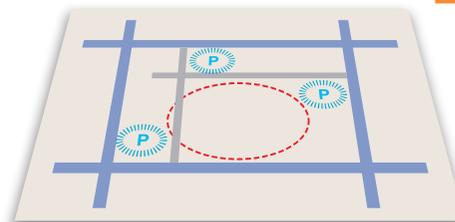
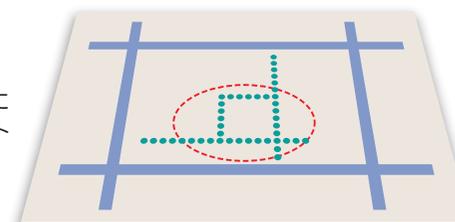


①都市機能の集積を誘導するエリア  
多様な活動を行う中心となるような都市機能の集積を誘導するエリアを設定



### ②ウォーカブルネットワーク

平塚駅周辺地区の主要な道路を中心に居心地が良く歩いて巡りたくなるネットワークを形成



### ③交通マネジメント

ウォーカブルネットワークを実現するため、多様な交通が集中し連絡する駅前広場の機能分担などを推進



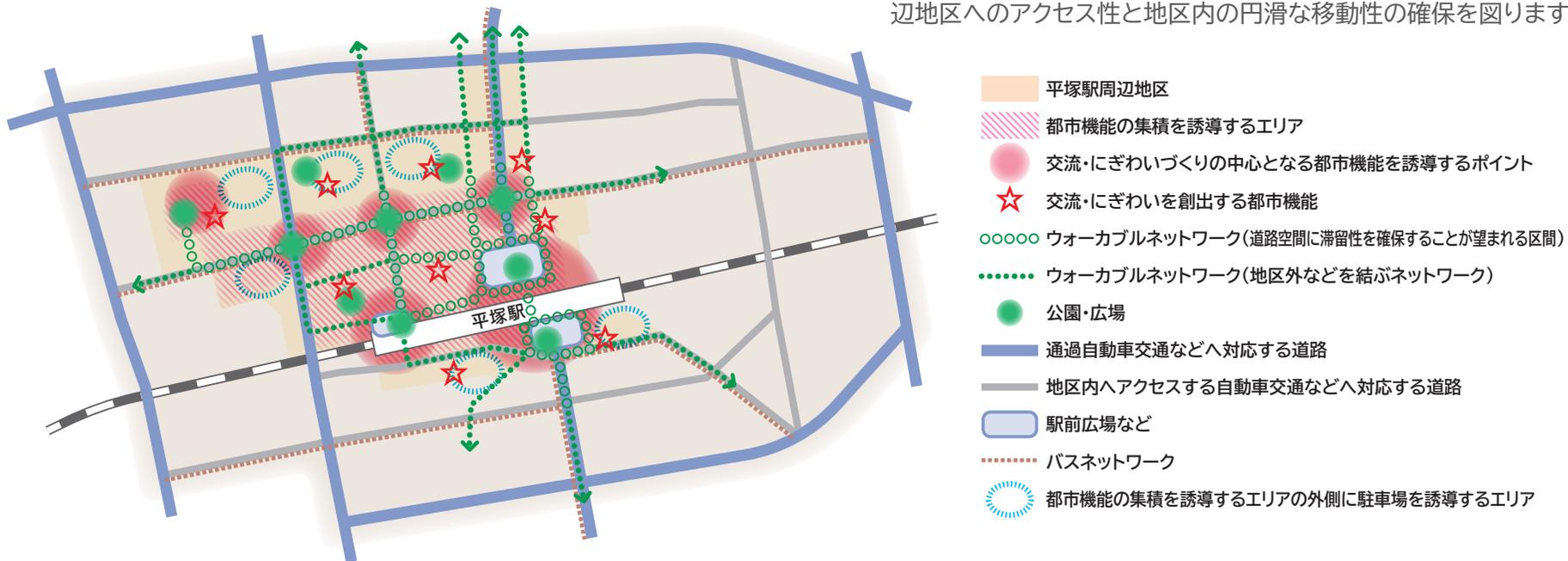
効果的・効率的なまちづくりの推進

## 2. グランドデザインの考え方

### ■ 都市機能の集積を誘導するエリア

平塚駅周辺地区全体に交流やにぎわいを創出する都市機能を誘導します。特に平塚駅周辺地区内の駅前広場や公共施設などがあり、人の移動が活発なエリアを「都市機能の集積を誘導するエリア」として設定し、エリア内の主要な道路同士との交差点や駅前広場、公共施設が立地するポイントを「交流・にぎわいづくりの中心となる都市機能を誘導するポイント」として、積極的に交流・にぎわいを創出する都市機能の誘導を図ります。

グランドデザインのイメージ



### ■ ウォーカブルネットワーク

平塚駅周辺地区内の主要な道路には多様な活動が誘発される滞留空間を確保するとともに、平塚駅周辺地区から隣接する施設やスポットへのつながりを強化し、居心地が良く歩いて巡りたくなるウォーカブルネットワークを形成します。

ウォーカブルネットワークに位置付けられた道路では、積極的にみどりを配置することで木陰があるみどり豊かな道路空間を形成します。

### ■ 交通マネジメント

ウォーカブルネットワークを形成するために、多様な交通が集中し連絡する駅前広場の機能分担や駐車場・駐輪場を適正に配置するとともに、誰もが歩きやすい歩行環境の整備と地区内交通を充実させることで、平塚駅周辺地区へのアクセス性と地区内の円滑な移動性の確保を図ります。

コラム

●都市機能とオープンスペースなどの活用によるコミュニティ  
プレイスの創出

まちには、都市機能としてカフェや図書館、会議室などの様々な「スペース（空間）」があります。それらの「スペース」でサークル活動や教室、企業のPR、マルシェなど多様な活動が行われることで、人々の愛着や交流が生まれ、人の居場所「プレイス（場所）」となります。

このような場所を「コミュニティプレイス」といい、建物の中に限らず、公園や広場などのオープンスペース（空間）もその1つとなることが考えられます。

○空き店舗を活用したコミュニティプレイスの創出

平塚まちなか活性化隊が運営する「まちなかベースきちきち」は、空き店舗を活用し、コミュニティプレイスとして運営されており、サークル活動、教室、企業のPR、マルシェなど、多くの目的で利用されています。

利用者の交流会の様子



マルシェの様子



○建物の建替えに伴うコミュニティプレイスの創出

建物の建替えに併せてビルの前にスペースをつくり、同時にその運用方法をセットで検討することで、コミュニティプレイスとして活用していくことが考えられます。

建物敷地を活用したコミュニティプレイスの創出例

